

様式3

全教科の指導方法課題分析と具体的な授業改善策

教科名 (美術)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に集中して制作に取り組んでいる。 ・発想・構想の点で、ポイントがおさえられていない生徒がいる。 ・ポスターカラーの平面的な彩色の仕方等、技能の点で、基本的技能を指導しても同じ間違いを繰り返す生徒がいる（筆の使い分け、混色の仕方等）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入部分で、ポイントを簡潔に説明する。 ・板書やプリントを工夫し、ポイントをいつも確認できるようにする。 ・基本的な技能を身につけられるよう、適切な時間を設定する。 ・個々の状況に合わせて個人指導をきめ細かく行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を日常的に見せる。 ・遅れている生徒は、昼休み等を使って指導する。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に集中して制作に取り組んでいる。 ・彫刻刀の使用法等、技能の点で、基本的技能を指導しても同じ間違いを繰り返す生徒がいる（手の置き方、刀の向き等）。 ・発想・技能面において、個人差が激しい。 ・全体的に、丁寧にやっているのですが予定より時間がかかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状況に合わせて個人指導をきめ細かく行う。 ・彫刻刀は正しく使わないとけがに繋がるため、強く注意喚起をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を日常的に見せる。 ・遅れている生徒は、昼休み等を使って指導する。 ・後の課題を、予定より短い時間でできるように内容を工夫して調整する。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に集中して制作に取り組んでいる。 ・発想・技能面において、個人差が激しい。 ・アイデアがあっても自分の描写力がついていかず、作品に生かしきれない生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状況に合わせて個人指導をきめ細かく行う。 ・彫刻刀は正しく使わないとけがに繋がるため、強く注意喚起をする。 ・絵が描けなくても、最初は言葉から考えさせる等、発想を展開しやすくする。 ・自分にできる表現方法から発展させ、作品完成まで取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を日常的に見せる。 ・遅れている生徒は、昼休み等を使って指導する。